

名古屋都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）
尾張東部衛生組合ごみ処理施設整備事業
に係る都市計画の構想段階評価書

要 約 書

令和7年11月

尾 張 旭 市

はじめに

本要約書は、尾張東部衛生組合が計画している新たなごみ処理施設の整備事業について、「都市計画運用指針」（令和7年3月一部改正）に基づき、都市計画の構想段階手続きとして、都市施設についての概略の案に対して、評価項目を設定し、その評価結果をとりまとめた都市計画の構想段階評価書の概要を示したものです。

都市施設の目的

国は、各都道府県に対して、ダイオキシン類削減対策、焼却残渣の高度処理対策、マテリアルリサイクルの推進、サーマルリサイクルの推進、最終処分場の確保対策、公共事業のコスト縮減を踏まえた、ごみ処理の広域化を推進するよう通知しています。

これを受けて、愛知県は、「愛知県ごみ焼却処理広域化計画」を策定しています。県内を13のブロックに分け、焼却能力300 t /日以上全連続炉への集約化を目指しており、尾張東部衛生組合（構成市：瀬戸市、尾張旭市及び長久手市）と尾三衛生組合（構成市町：日進市、みよし市及び愛知郡東郷町）の焼却施設の集約化が目標とされています。「尾張東部・尾三地域広域化ブロックごみ処理における広域化計画」（令和3年3月）では、令和44年度に集約1施設とすることを目標としており、よって、令和43年度までは、各組合が単独でごみ処理を行う必要があります。

なお、令和3年11月には、愛知県は「愛知県ごみ処理広域化・集約化計画（2021年度～2030年度）」を策定しており、尾張東部・尾三ブロックの2焼却施設を令和15（2033）年度以降を目安に統合し、1施設による処理体制を目指すとしています。

尾張東部衛生組合では、組合が管理・運営する一般廃棄物処理施設（晴丘センター）において瀬戸市、尾張旭市及び長久手市で発生するごみの処理を行っています。本組合の現有施設である晴丘センターは、平成2年3月に粗大ごみ処理施設、平成4年3月にごみ焼却施設が竣工し、ごみ焼却施設については老朽化が進行していたため令和13年度までの延命化を目標に令和元年度から令和4年度にかけて基幹的設備改良工事を実施しています。令和5年度には「ごみ処理施設整備基本構想」（令和6年3月）を策定し、令和15年度の稼働を目標として、新可燃ごみ処理施設及び新不燃ごみ・粗大ごみ処理施設を整備する計画としています。その後の検討において、まず新可燃ごみ処理施設について計画検討及び整備を進め、新不燃ごみ・粗大ごみ処理施設については、それ以降に改めて計画検討を行うこととしました。

本事業は、本組合の新ごみ処理施設の建設を目的とするものです。

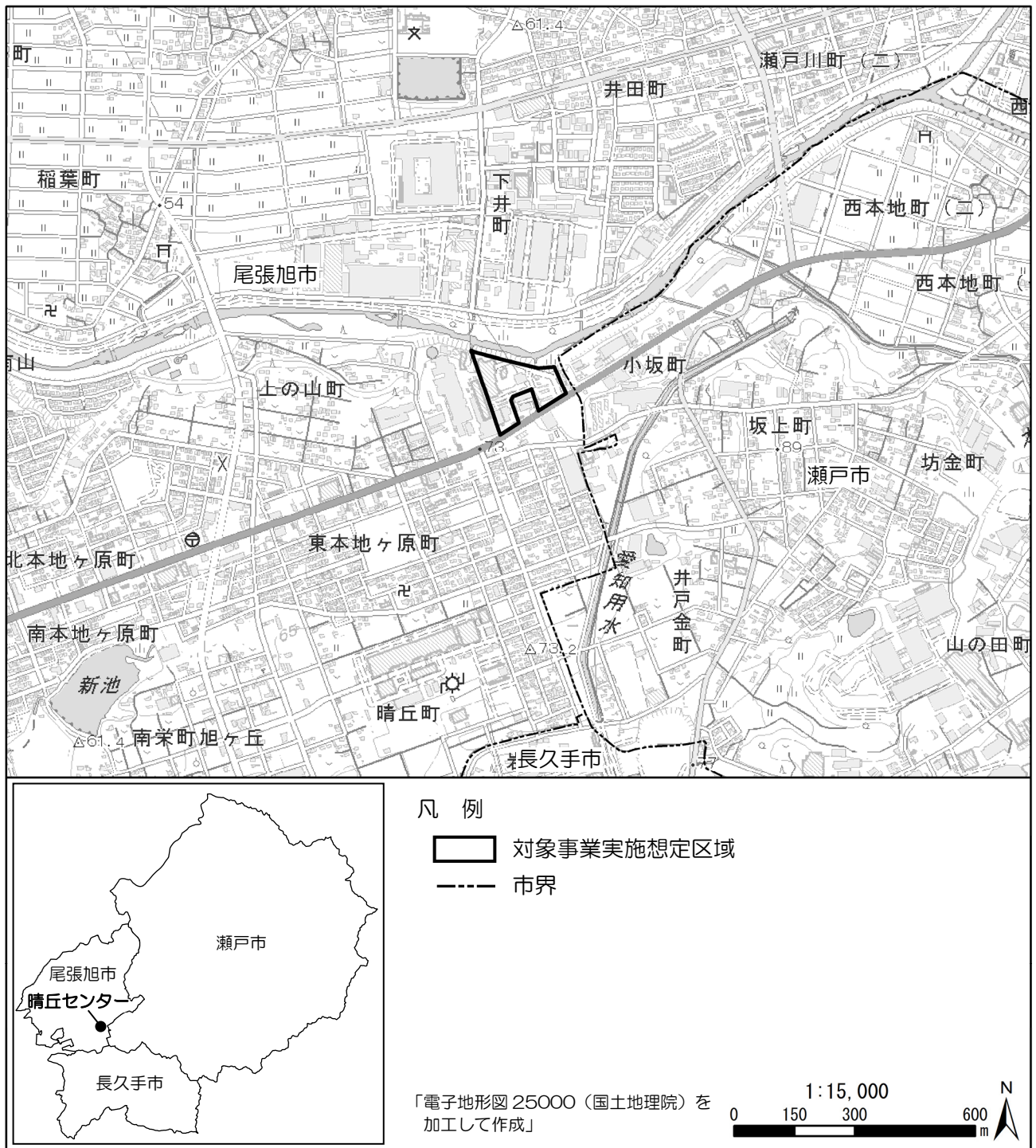
都市施設の概要

■対象事業の内容

対象事業の内容は以下のとおりです。

対象事業の種類		ごみ処理施設（ごみ焼却施設）の設置事業
対象事業の規模		処理能力：205 t /日（2 炉）
位置及び面積		愛知県尾張旭市晴丘町東地内 約 2.1ha
可燃ごみ焼却施設	処理方式	未定
	処理対象ごみ	可燃ごみ、災害廃棄物
	公害防止設備	適切な公害防止設備を備えた施設を整備する
	煙突高さ	59m
運転計画		24 時間連続運転
稼働目標年度		令和 15 年度

【対象事業実施想定区域の位置】



＜建設予定地の決定経緯＞

建設予定地については、「ごみ処理施設整備基本構想」において検討を行いました。

まず、候補地選定にあたり必要な基本条件として、関係する土地利用規制の法令や指針、地形・地理、生活環境保全等の条件の整理を行い、一次スクリーニングでは、建設不適地を排除し、建設に必要な面積を確保できることを条件とし、138候補地を抽出しました。二次スクリーニングでは、ポジティブ条件（周辺条件、災害に対する安全性等）により候補地を絞り込み、さらに各小学校区から候補地への収集運搬効率が平均値以上となる候補地を絞り込んで、8候補地を抽出しました。三次スクリーニングでは、技術面、環境面、土地利用面、用地取得可能性、経済・維持管理面、余熱利用面の6点から比較評価基準を定めて比較評価を行い、得点が最も高かった現有施設の敷地を最優秀候補地として絞り込みました。

その後、「ごみ処理施設整備基本構想」における結果を踏まえて更なる検討や関係者との協議を行い、建設予定地の範囲を決定しました。

■工事計画の概要

本事業の工事は、施設建設のための土木・建築工事、プラント設備工事及び外構工事を予定しています。

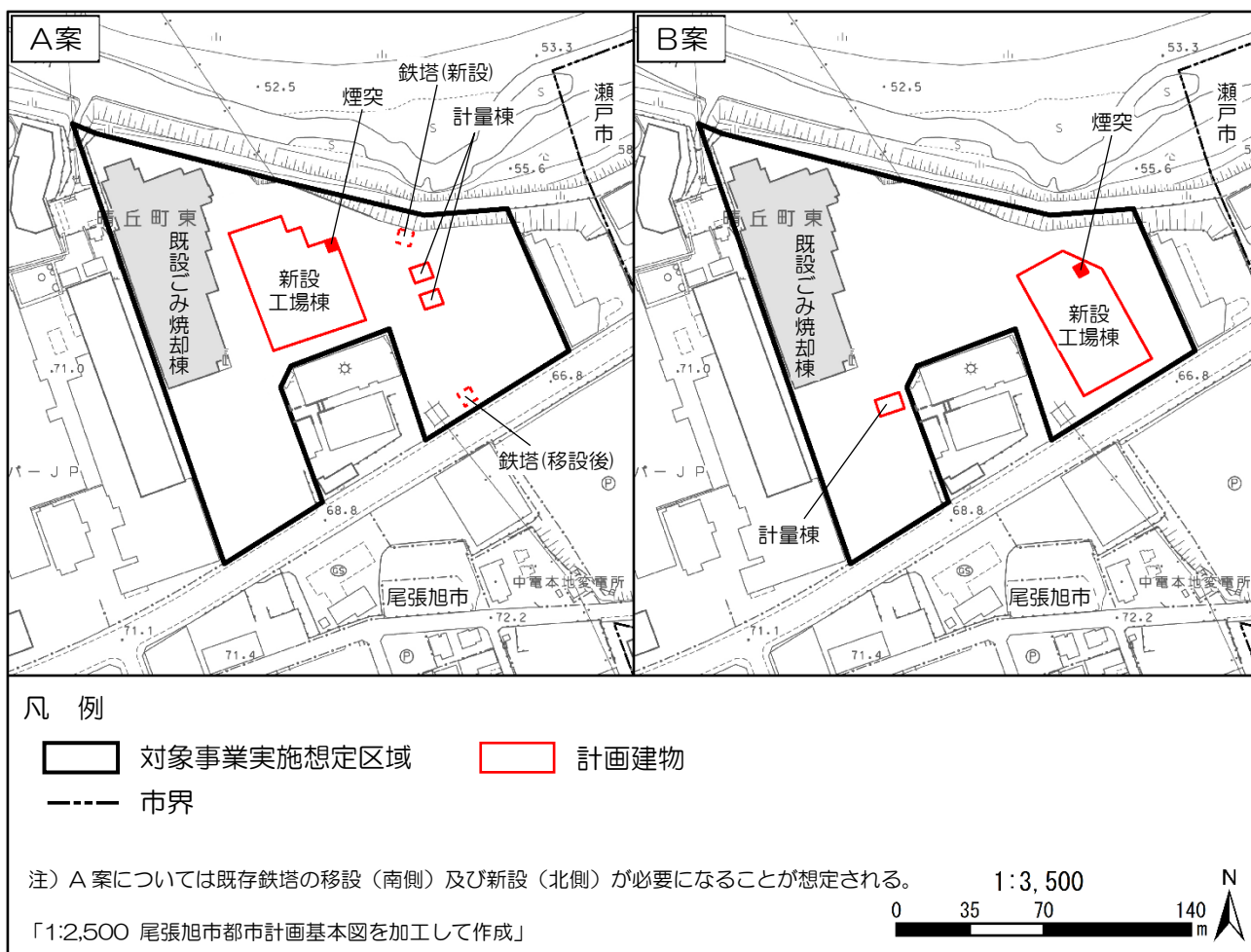
【工事工程表（予定）】

工程	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	6 年目	7 年目
解体工事							
土木・建築工事							
プラント設備工事							
外構工事							
試運転							
供用							

■複数案の設定

事業の位置については、「ごみ処理施設整備基本構想」において候補地選定が行われていること、規模についても処理能力の検討が既に行われていることから、位置及び規模に関する複数案の設定は行わず、施設の配置について A 案（敷地中央配置）と B 案（敷地東側配置）の 2 案を設定しました。

【設定した複数案】



尾張旭市都市計画マスタープランにおける当該施設の位置付け

「尾張旭市都市計画マスタープラン」（平成23年3月）においては、ごみ処理場の整備の方針に関して、位置付けの記載はありません。

なお、現在、新たな都市計画マスタープラン（令和8～17年度）の策定を進めており、このなかで計画施設について位置付ける計画としています。

都市施設・ごみ処理施設（一般廃棄物処理施設）の評価分野、評価項目及び評価の方法

評価分野	評価項目	評価の方法
都市計画の一体性・総合性の確保	農林漁業との健全な調和	現況及び将来の土地利用方針との整合性から農林漁業との健全な調和が図られているか評価します。
	健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動の確保	対象事業実施想定区域での土地利用が、周辺の居住環境や都市活動に影響を与えることがないかを現況及び将来の土地利用方針との整合性、近接する居住地区・公益施設や周辺交通への影響について評価します。
	土地利用規制と都市施設の計画との連携等、一体のものとして効果を発揮	対象事業実施想定区域及び周辺の用途地域、都市計画道路等の都市施設の計画について、当該施設立地における整合性が図れており、当該施設の効果を十分に発揮することができるか評価します。
自然的環境の整備又は保全	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持（大気質）	複数案における環境影響の程度を比較整理し、重大な環境影響の程度を整理・検討します。
	人と自然との豊かな触れ合いの確保（景観）	
円滑な都市活動の確保	周辺交通への影響	周辺アクセス道路の整備状況などを評価します。
良好な都市環境の保持	敷地内緑地の確保	対象事業実施想定区域内の 2 つの施設配置案について、敷地内緑地の配置の違いを比較評価します。
適切な規模及び必要な位置への配置	事業コストの適正	対象事業実施想定区域内の 2 つの施設配置案について、事業コストの違いを比較評価します。
	事業期間長期化リスク	対象事業実施想定区域内の 2 つの施設配置案について、既存施設の撤去による事業期間長期化リスクを比較評価します。

健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動の確保

将来土地利用方針との整合性の観点からの周辺居住環境や都市活動に対する影響の評価

尾張旭市都市計画マスタープランの土地利用計画では、対象事業実施想定区域は工業地区とされており、対象事業実施想定区域の周辺は、矢田川沿いが自然環境保全・活用地区となっているほか、主に工業地区、既存市街地地区、一般住宅地区とされています。

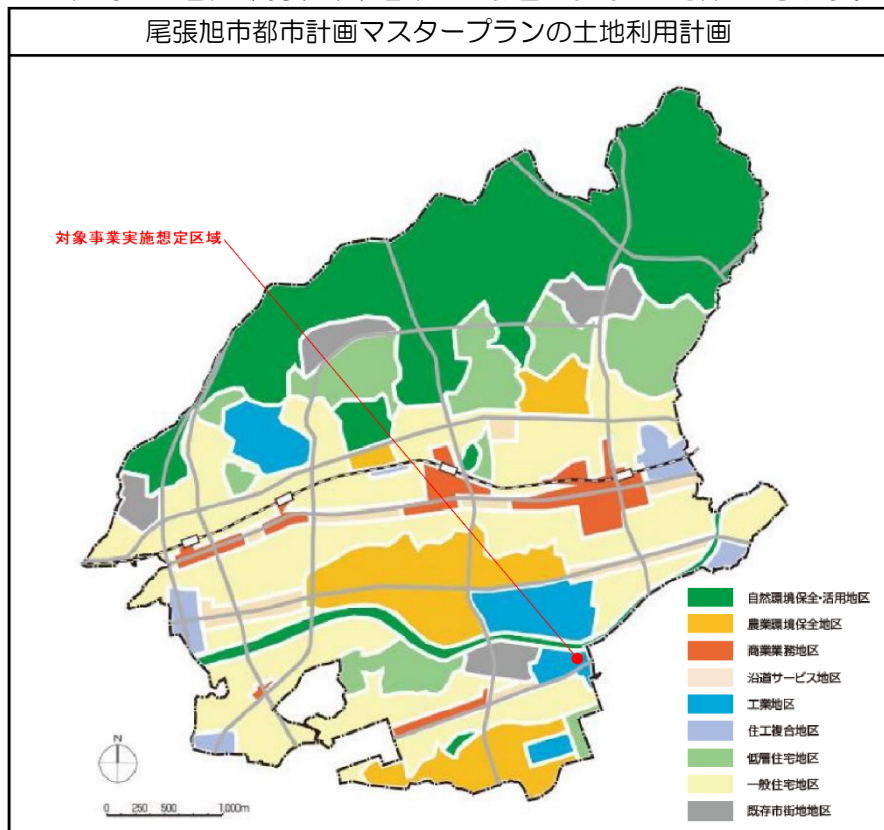
地域別構想の土地利用の方針では、地域の目標として「周辺都市との交流と地域間のふれあいで夢を拓くはつらつとしたまち」が掲げられており、対象事業実施想定区域の位置する晴丘町について、「晴丘町の工業地区においては、工業地としての土地利用の維持・促進に向け、現在の用途地域指定を継続し、業務環境の維持に努めます。」とされています。本事業の実施はこの方針を阻害するものではありません。

さらに、事業の実施にあたっては、環境保全のための対策を実施することで、周辺居住環境や都市活動に対する適切な配慮を講じていく計画です。

また、現在策定中の新たな都市計画マスタープランでも、土地利用方針の方針と合致する見込みとなっています。

したがって、周辺の居住環境や都市活動への影響は少ないと評価できます。

尾張旭市都市計画マスタープランの土地利用計画



近接する居住地区・公益施設や周辺交通への影響の比較評価

《近接する居住地区・公益施設への影響》

日常の「健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動」の観点からは、環境面等を考慮した場合、近接する住宅や公益施設（緑地公園、学校、保育園）と、ごみ処理施設は、少しでも離れた位置が良いと考えられます。対象事業実施想定区域から最寄りの公益施設としては、南西約 320m の位置に福祉施設が存在します。また、最寄住居は対象事業実施想定区域の南側約 65m の位置にあります。対象事業実施想定区域の南側には住居系の用途地域の地区も存在します。

事業の実施にあたっては、環境保全のための対策を実施することで居住地区・公益施設の環境に対する適切な配慮を講じていく計画です。

したがって、近接する居住地区・公益施設への影響は少ないと評価できます。

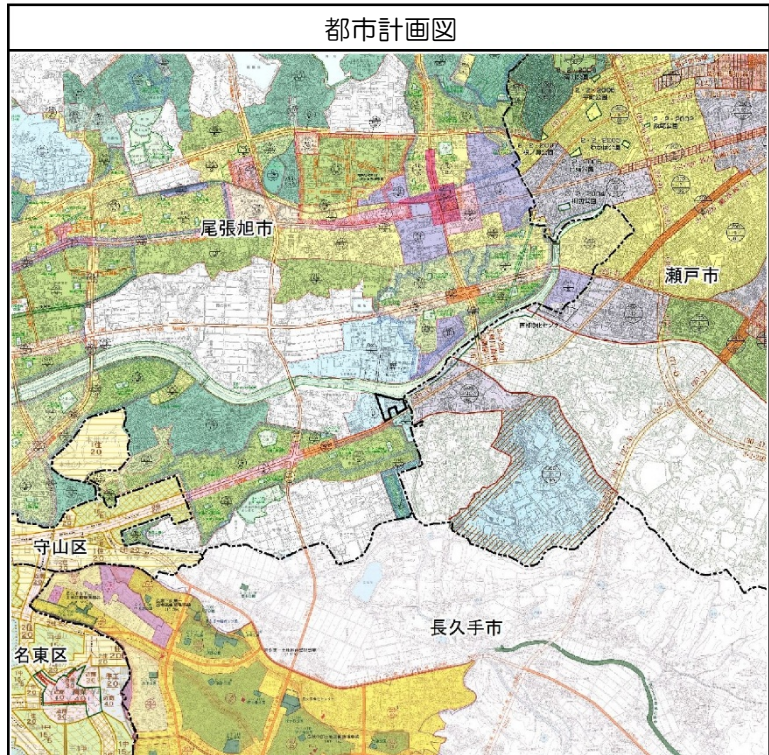
《周辺交通への影響》

対象事業実施想定区域周辺には、一般国道 363 号や県道春日井長久手線などの幹線道路が整備されており、交通の利便性が高いです。ごみ処理施設に集中する廃棄物運搬車両の交通は、対象事業実施想定区域と南側で接する一般国道 363 号を利用し、敷地内の進入路、待避所で処理されます。いずれの案においても、同規模の進入路、待避所を確保することができると考えられるため、周辺交通への影響の違いはないといえます。

土地利用規制と都市施設の計画との連携等、一体のものとして効果を発揮

対象事業実施想定区域は、既存のごみ処理施設が存在しています。用途地域は工業地域となっており、用途上の問題はありません。また、対象事業実施想定区域周辺には、一般国道 363 号や県道春日井長久手線などの幹線道路が整備されており、交通の利便性が高いです。

このため、土地利用規制や都市施設の計画とも整合が図れ、当該施設の効果を十分に発揮することができると評価できます。



【 凡 例 】

対象事業実施想定区域

区分	尾張旭市	長久手市	瀬戸市	名古屋市
市街化区域				
第一種低層住居専用地域	1	1	1	1
第二種低層住居専用地域	2	—	2	2
第一種中高層住居専用地域	3	3	3	3
第二種中高層住居専用地域	4	4	4	4
第一種住居地域	5	5	5	5
第二種住居地域	6	6	6	6
準住居地域	7	7	7	—
近隣商業地域	8	9	8	近隣
商業地域	9	—	9	商業
準工業地域	10	11	10	準工
工業地域	11	12	11	—
工業専用地域	—	—	12	—
特別工業地域	—	—	12	—
高度利用地区	—	—	—	—
都市計画道路	←	→	→	→
都市計画道路（整備済区間）	←	→	→	→
都市高速鉄道	—	—	—	—
生産緑地地区	—	1-1	—	—
駅前交通広場	→	—	→	—
都市計画公園・緑地	→	→	→	→
都市公園・緑地	→	→	→	→
都市計画墓地	→	→	→	→
都市計画公園・緑地・墓園	→	→	→	→
地区計画区域	→	→	→	→
土地区画整理事業区域	→	→	→	→
土地区画整理事業施行中区域	→	→	→	→
土地区画整理事業施行済区域	→	→	→	→
土地区画整理促進区域	→	→	→	→
市街地再開発事業・第二種市街地再開発事業区域	→	→	→	→
再開発地区計画区域	→	→	→	→
駐車場整備地区	→	→	→	→
防火地域	→	→	→	→
防火地域（集団防火・路線防火）	→	→	→	→
準防火地域	→	→	→	→
DID	→	→	→	→
供給処理施設	→	→	→	→
その他の都市施設	→	→	→	→
研究開発地区	→	→	→	→
特別低層住居専用地区	→	→	→	→
特定用途誘導地区	→	→	→	→
第1種風致地区・第2種風致地区	→	→	→	→
10m 高度地区	→	→	→	→
15m 高度地区	→	→	→	→
20m 高度地区	→	→	→	→
31m 高度地区	→	→	→	→
絶対高 31m 高度地区	→	→	→	→
絶対高 45m 高度地区	→	→	→	→

■自然的環境の整備又は保全

評価分野	評価項目			評価結果	
				A案	B案
自然的環境の整備又は保全	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気質	窒素酸化物 浮遊粒子状物質 有害物質等	予測結果（寄与濃度）にバックグラウンド濃度を加えた将来濃度は、いずれの対象計画案においても同様の値となり、すべての項目において環境基準を下回っていることから、重大な影響が生じることはないとは評価します。	
	人と自然との豊かな触れ合いの確保	景観	景観資源及び主要な眺望点の改変の状況	いずれの対象計画案においても景観資源及び主要な眺望点の直接改変はないことから、計画施設が存在が重大な環境影響を及ぼすことはないとは評価します。	
			施設存在による眺望景観への影響	<p>景観 1、景観 3 及び景観 4 については、眺望景観の変化は小さく、景観 2 については、眺望景観の変化は大きいと予測します。</p> <p>予測地点から計画施設を望む仰角は、すべての地点において圧迫感を受ける目安である 10 度を下回っています。</p> <p>いずれの対象計画案についても、眺望景観に重大な影響が生じることはないとは評価します。</p>	

■円滑な都市活動の確保

評価分野「都市計画の一体性・総合性の確保」を参照してください。

■良好な都市環境の保持

敷地内緑地の確保
<p>現段階における当該対象事業実施想定区域内の配置イメージにおいては、敷地内緑地の配置検討は行われていないため、今後、可能な限り緑地を配置できるように検討します。</p> <p>このため、各配置案ともに、施設配置の違いによる緑地の配置への影響は少なく、違いはないといえます。</p>

■適切な規模及び必要な位置への配置

事業コストの適正
<p>施設配置については、いずれの対象計画案も、ごみ処理施設を整備する計画であり、施設建設費用は基本的には変わりません。</p>
事業期間長期化リスク
<p>いずれの対象計画案も、対象事業実施想定区域内の計画施設の建設予定場所の現況は主に管理棟、駐車場等となっており、既存施設撤去による事業期間長期化リスクはありません。</p>

総合評価

【総合評価】

評価分野	評価項目			評価結果	
				A案	B案
都市計画の一体性・総合性の確保	農林漁業との健全な調和			○ 農業との健全な調和が図れます。	
	健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動の確保	現況土地利用との整合性の観点からの周辺居住環境や都市活動に対する影響の評価		○ 周辺の居住環境や都市活動への影響は少ないと考えられます。	
		将来土地利用方針との整合性の観点からの周辺居住環境や都市活動に対する影響の評価		○ 周辺の居住環境や都市生活への影響は少ないと考えられます。	
		近接する居住地区・公益施設への影響		○ 近接する居住地区・公益施設への影響は少ないと考えられます。	
		周辺交通への影響		○ 廃棄物運搬車両の交通は、敷地内の進入路、待避所で処理できることから周辺交通への影響は少ないと考えられます。	
	土地利用規制と都市施設の計画との連携等、一体のものとして効果を発揮			○ 当該施設の効果を十分に発揮できます。	
自然的環境の整備又は保全	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気質	窒素酸化物 浮遊粒子状物質 有害物質等	○ 環境基準を下回っていることから、重大な影響が生じません。	
	人と自然との豊かな触れ合いの確保	景観	景観資源及び主要な眺望点の改変の状況	○ 直接改変はないことから、計画施設の存在が重大な環境影響を及ぼすことはありません。	
			施設の存在による眺望景観への影響	○ 景観 1、景観 3 及び景観 4 については、眺望景観の変化は小さく、景観 2 については、眺望景観の変化は大きく、予測地点から計画施設を望む仰角は、すべての地点において圧迫感を受ける目安である 10 度を下回っています。いずれの対象計画案についても、眺望景観に重大な影響が生じることはありません。	
円滑な都市活動の確保	周辺交通への影響			「都市計画の一体性・総合性の確保」を参照してください。	
良好な都市環境の保持	敷地内緑地の確保			○ 可能な限り緑地が配置できるように検討します。	
適切な規模及び必要な位置への配置	事業コストの適正			○ 事業コストは適正と考えられます。	
	事業期間長期化リスク			○ 事業期間長期化リスクはないと考えられます。	
総合評価				○	○

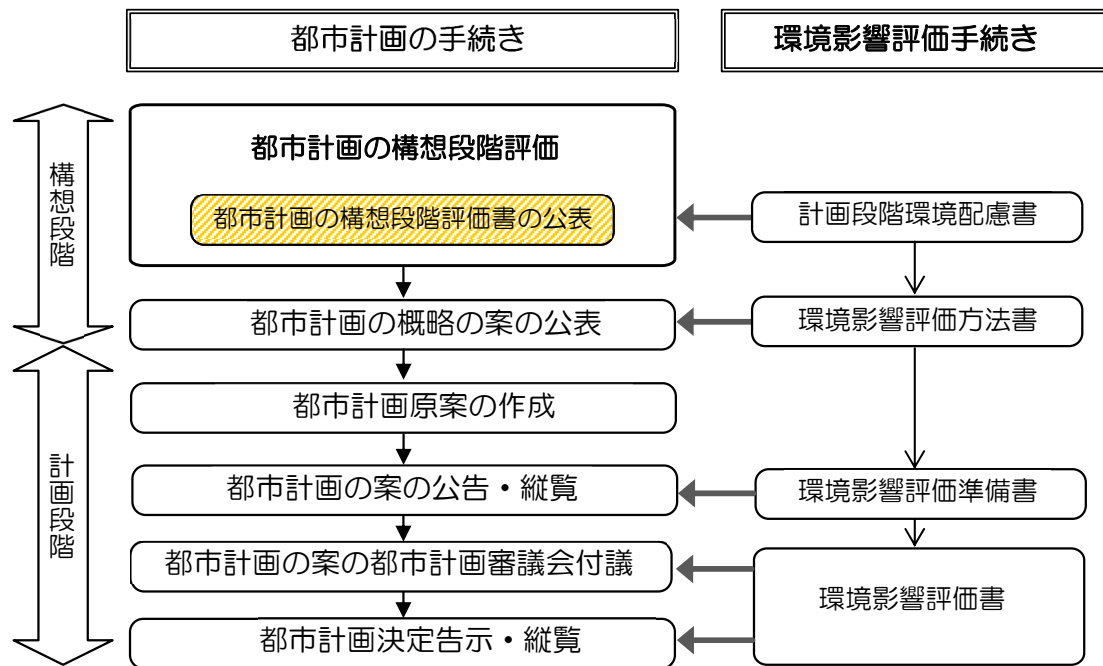
注) 各案の相対的な評価において、「優れている」を「◎」、「優れている案に比べて劣っている」を「○」としました。
また、各案が「同等」の場合は「○」としました。

【参 考】

◆ 都市計画の手続き

都市計画の構想段階手続き、計画段階手続きの流れは、下図に示すとおりであり、今回の「都市計画の構想段階評価書」の公表は、色網掛けで囲んだ段階のものです。

今後は、都市計画の概略の案の公表以降の手続きを進めてまいります。



◆ 都市計画の構想段階評価書の縦覧

縦覧場所	縦覧期間	縦覧時間	備 考
尾張旭市市民生活部環境課 瀬戸市市民生活部環境課 長久手市くらし文化部環境課 尾張東部衛生組合	令和 7 年 11 月 26 日(水)から 令和 7 年 12 月 25 日(木)まで	午前 8 時 30 分から 午後 5 時 15 分まで	土曜日、 日曜日は 除きます。
名古屋市環境局地域環境対策部地域環境対策課 名古屋市住宅都市局都市計画部都市計画課 名古屋市守山区役所 名古屋市守山区役所志段味支所 名古屋市名東区役所		午前 8 時 45 分から 午後 5 時 15 分まで	

注) 尾張旭市のウェブページからでもご覧になれます。下記の QR コードからアクセスできます。

(<https://www.city.owariasahi.lg.jp/site/gomi-recycle/47763.html>)



お問い合わせ先	尾張旭市環境課 〒488-8666 愛知県尾張旭市東大道町原田 2600-1 TEL：0561-76-8135
	尾張東部衛生組合（瀬戸市、尾張旭市、長久手市で構成） 〒488-0031 愛知県尾張旭市晴丘町東 33 番地の 1 TEL：0561-54-1643 FAX：0561-52-3886